

7月には、京都で活躍されている、ヴォーカルグループ「AVALON」(アバロン)をお招きしコンサートを開きました。



「しなやかシニアの会」会員
本多蘭子さんの感想です。



七月十三日、大津柳ヶ崎の「大津館」で、「アバロン・ポピュラー・コンサート」が開催されました。
花や湖を抱え込むような大津館の景観の良さと、建物・ホール・の素晴らしいさと相まって、70人程の観客を得て、しばし時間を忘れる、心地よい素敵な時間を共有することが出来ました。
実は、この「アバロン」の方々は、京都在住の男性教師一人、女性講師二人の編成ですが、私も「シャンソン教室」の先生方で、勿論プロとして活躍していますが、その素晴らしい歌唱力と人間性を「しなやかシニアの会」の皆様を知って頂きたいとお願いし、色々話し合いながら実現させて頂きました。
多面的な音楽性と共に「ボラレ」「新カルメン」「ニューヨーク・ニューヨーク」など、その歌声は観客を大いに盛り上げ、観客も盛大に声援を送って下さいました。
又、「琵琶湖周航の歌」など、皆で歌い、会場に優しい声があふれました。途中で「コーヒー・紅茶」など頂く時間も含めて、楽しくアロマティックな時間の流れを演出して頂きました。
「シニアの会」の役員の皆様の努力と細々とした配慮に感謝すると同時に「しなやか」の一員として、今後少しずつでも、お手伝い出来ればと思っている自分を感じています。
本多 蘭子 記

しなやかなつばやし

7月は私の誕生日、子供たちから「お誕生日おめでとう！気持ちですが」とメールが届く。それではと、毎年この時期に西宮で開催される佐渡裕氏プロデュースのオペラに出かけることを、数年前から私への誕生日プレゼントにした。

上演前のカフェでのひととき、隣の席に座られた女性の綺麗な水色のコードレーンのジャケットとアクセサリーの姿に一瞬目を引きつけられた。何とお洒落な。その女性の「80代半ばで、堺市から電車を乗り継いで来るが、友人たちは遠いからと付き合ってくれないから一人でも来るのよ。人とのつながりを大事にしておく、遠くでも訪ねて遊びに行けるでしょ。自分の行動範囲を狭くしたくないしね。」との話に私も相づちを打っていると、「でもね、娘がいるから。声を掛ければ一緒に付き合ってくれるが、息子ではそうはいかないわね。」ガン！娘のそばに居たいという声をよく聞くようになった。やはり今時、持つべきものは娘なのか！「気持ちですが」の息子では駄目なのか。でも、私は一人でもしなやかに頑張るぞ。と改めて決意した誕生日プレゼントだった。 鈴木 記

7/31

ハープティを頂きながら 女性が語る戦争体験

この時期、あちこちで「戦争体験を語る」会が催される。大上段に構えずとも、戦争体験は、個人個人の人生の中で一つ、お花の福原先生は、父親と田舎から食料を調達した帰り、警官に呼び止められるのを免れて・・・等、家族の中で、どう感じてこられたかという視点からのお話を下さった。
休憩をかね、クッキー・ケーキそして、爽やかなハープティを頂きながら歓談。
あと、数人の方からそれぞれの体験を話して頂いた。



「ちくちく」発足

手作りの洋服を着ていた会員を見、「教えて欲しい！」の一声で、スタート！！

手縫い(ミシンを使わない)というのが、手軽に出来るだろうと。スタートしてみると、かってドレメで本格的にした方、ワールドのパタンナーだった方など、スキルを持った方も現れて・・・

第1、第3の木曜 13時から

ご興味のある方は、覗いてみてね♪



予定・お知らせは home page に随時のせておりますので、是非、チェックして下さいね。

「しなやかシニアの会」で検索すると出てきます♪ HP://www.shinayakashinia.com/